

**足寄被災住宅
支援に感謝状**
宮坂建設工業
〔帯広〕宮坂建設工業
(本社・帯広)は6日、
台風7号による利別川氾
濫で被災した足寄町内の
住宅で奉仕活動をしたこ
とに対し、同町から感謝
状を受けたと写真。
同社は帯広開港150

道横断道陸別町日崇橋下
部と24号号足寄町足寄
橋改良を施工している。
8月の台風発生時に、現
場近くの旭町地区で住宅
が床上浸水している惨状
を聞き、支援を申し出た。
関連会社の清掃部門であ
るダスキン事業部と共
に、住宅の清掃と消毒に
尽力した。
安久津勝彦町長が帯広
市内の同社を訪れ、宮坂
寿文社長に感謝状を手渡
した。
宮坂社長は「当社では
24時間体制で災害対応し
ている。今後、緊急復旧
から本復旧に移るが、引
き続き早期に復旧でき



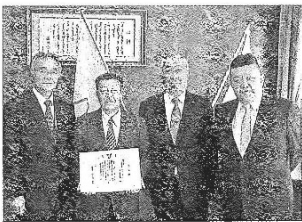
「帯広西足寄町は6日、被災民が早くもこの生活に戻れるよう尽力したことが高く評価されたもの。この日、安久津町長が宮坂社長に感謝状を贈呈。安久津町長は被災直後の状況を振り返り、「台風7号」11号と連続して大雨に襲われたが、11日間で地域住民が安心して暮らせるよう環境整備を行うことができた。皆さんのおかげだと思っている」と感謝の言葉を送っていた。

宮坂建設工業等に足寄町から感謝状
応急復旧活動に尽力
浸水した住宅の消毒も実施

排水作業はじめ、土のうの撤去作業や家庭から排出される大型ごみの運搬や収集・廃棄処分など多岐にわたって支援活動を行った。
このほか、登寿ホールディングスのダスキン事業部が浸水した住宅を消毒するなど、被災した地

【帯広西足寄町は6日、被災民が早くもこの生活に戻れるよう尽力したことが高く評価されたもの。この日、安久津町長が宮坂社長に感謝状を贈呈。安久津町長は被災直後の状況を振り返り、「台風7号」11号と連続して大雨に襲われたが、11日間で地域住民が安心して暮らせるよう環境整備を行うことができた。皆さんのおかげだと思っている」と感謝の言葉を送っていた。

宮坂社長は「帯広開港150



「帯広西足寄町は6日、被災民が早くもこの生活に戻れるよう尽力したことが高く評価されたもの。この日、安久津町長が宮坂社長に感謝状を贈呈。安久津町長は被災直後の状況を振り返り、「台風7号」11号と連続して大雨に襲われたが、11日間で地域住民が安心して暮らせるよう環境整備を行うことができた。皆さんのおかげだと思っている」と感謝の言葉を送っていた。

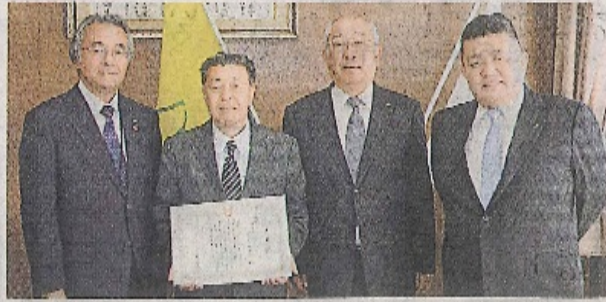
宮坂社長は「帯広開港150

「戻せるようダスキン事業部が浸水した家の消毒を手伝った。我々は二十四時間体制で災害に備えており、引き続き、総力を挙げて頑張りたい」と述べていた。同社では、現在も十勝管内で台風被災による被災個所で復旧作業を進めている。

宮坂グループに 感謝状贈呈

復旧支援で

【足寄】町は6日、台風による大雨被害を受けた同町でボランティア活動を行った宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）と同社グループの登寿ホールディング



スタスキン事業部（同）に感謝状を贈った。宮坂建設工業は8月17日の台風7号による大雨被害が発生して以降、同町で排水作業や泥をスコップでか

感謝状を受け取った宮坂社長、高道伸専務、登寿ホールディングスの小川雅己総務部長（右から）。左は安久津町長

き出す作業をボランティアで行った。同23日からはスタスキン事業部の社員が加わり、浸水の被害に遭った家屋の洗浄作業を行った。

6日、同社を訪れた安久津勝彦町長から宮坂社長に手渡された。安久津町長は「いち早く現場に駆けつけてボランティア活動をしていただいた」と感謝し、宮坂社長は「感謝状を励みに、本格復旧に向けて総力を挙げて取り組む」と力を込めて話した。（中島佑斗）